

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
 Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1137号
 2009年10月4日発行
 日本聖公会東京教区
 港区芝公園3-6-18
 編集人 伊藤裕元

◇10月の代禱・信施奉献先
 ▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(10月第3主日10・18)▽社会事業の日(特定25)(10・25)

◇堅信受領

9月6日 聖愛教会

▽野田楯太郎▽本間博子(聖愛)

◆とこしえの平安

7月14日 鈴木 正子(73)

9月3日 吉村 武(80) 目白

9月5日 辻川 彰子(95)

9月11日 石川 俊夫(87) 聖マールゲレット

今週・来週の予定
 10月4日~17日

- 4(日) 聖霊降臨後第18主日 主教巡回 聖フランシス・聖エリザベス礼拝堂
- 5(月) 正義と平和運営委員会
- 7(水) エルサレム教区協働委員会
- 9(金) 外濠G牧師協議会 (聖バルナバ)
- 11(日) 聖霊降臨後第19主日 主教巡回 千住基督教会
- 12(月・休) 主教巡回 渋谷聖公会聖ミカエル教会
- 13(火) 銀座朝祷会 財政委員会 聖職養成委員会
- 15(木) 人権：日の丸・君が代 聖職養成委員会 (神学院)
- 16(金) 常置委員会

9月16日 小松 和子(88) 聖三一

▽10月聖路加国際病院礼拝堂

《夕の祈り》 7日(水) 18時半

オルガン演奏に引き続き19時から。演奏者 小樽由希子。入場無料(会場献金)。

▽10月ランチタイム・オルガンコンサート *聖パウロ 9

日(金) 12時20分、坂戸真美。30分程度、入場無料。
 ◇秋のバザー(2)
 真光 10月11日12時~14時半
 聖マリア 14日10時半~16時
 (ガレージセール)
 聖オルバン 17日夕刻オークション(ディナー7千円)、電気ビル20階日本外国特派員協会(外国人記者クラブ)

『天にましますわれらの父よ、みなをあげさせたまえ...』と、誰かが主の祈りを始めました。2年ほど前のわたし達「こども文庫」のクリスマス会でのエピソードです。

この日は、赤ちゃんとお母さんが中心の集まりでした。

お喋りや絵本の読み聞かせ、またいっぱい遊んだ後、プログラムには無かった「教会探険」をすることになりました。教会のホールから通じる階段を登り2階の礼拝堂に到着すると、シーンとした礼拝堂に施された装飾に「きれい！」の歓声がまた、アドベント・クランツに立つ4本の赤いローソクに眼をみはる子ども達。偶然のツアー？に参加したこのお仲間、

《み手のなかで》

心の養いをあらたに

田島昌子

み込まれたのでしょうか。一人の親御さんの口をついたのが『主の祈り』だったのです。全部言い終わると、『幼稚園の頃に覚えたお祈りなんです。私、覚えてたんですね...』と、驚いたような嬉しいような語りかけでした。思わず「素晴らしいワ」と言葉を添えました。

明治期には、西欧の女性宣教師が日本に多くの幼稚園を開き、女性と子どものため教育に貢献しました。クリスマスチャン人口が常に1%を越えない歴史の中で、この出来事のような幼児期の「心の養い」が目覚める新しい出会いに、私は心弾ませます。敷居の高い教会と地域とが繋がる希望の出会いを、この小さな文庫に託したいと願っています。

(東京聖三一教会信徒)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

常置委員会報告 (9月17日)

* 主教の入院及び経過、聖教主福祉会理事会で保育園事業移管を正式に取下げ、来日中のカンタベリー大主教に随行、その他の主教報告。

* 次期主教選挙特別委員会進捗状況、キッドスクール管理運営規定及び幼・保08年度決算確認、月島聖公会・聖ルカ保育園将来計画準備室会合報告他。

* 信徒奉事者認可および分餐奉仕者許可、及びエルサレム教区協働委員の委嘱。

* 2010年度教役者給与水準に関する答申を了承、宣教師給与基準について協議。

* 教区内教会事業活動包括保険の契約締結を了承。

* その他。

正義と平和協議会運営

委員会報告 (9月14日)

* 前回協議会において提起された協議会加盟団体の位置づけについて、過去の教区会議事録を確認し経緯を報告。

* 来年度活動計画並びに予算について協議。

* 11月23日発行予定の『協議会便り』の内容協議。

* 次回正義と平和協議会を12月5日(土)または11月28日(土)に開催。野宿者支援のシンポジウム、議題は①運営委員1名の選出②新議長の選出。

* その他。

▽会計委員懇談会 財政委員

会では教区費分担金の改定案についての懇談会を10月10日(土)14時〜17時、阿佐谷聖・ペテロ教

会で開催する。各教会から1名以上の出席を求められている。

▽秋の信徒講座 信仰と生

活委員会では10月14日(水)・22日(木)19時より「世間とイエスの常識」と題した講演会を開催する。講師は柳時京司祭。場所は教区会館3階。参加費各500円。

▽新しい聖地旅行 エルサレ

ム教区協働委員会では来年4月15日(木)〜28日(水)の日程で新しい聖地旅行を計画している。費用は29万円。この時期は花々が一斉に咲き誇る季節。エルサレムからナザレ・ガリラヤ湖を巡ると共に、現代の平和のための働きを訪問するプログラム。申込締切は10月末日。その後月一度勉強会をする予定。

【クローズアップ】25

使命の再確認を！

日本聖公会宣教150周年の今年、プロテスタント諸教会ともその宣教開始を共有する部分がある。来年は、世界のエキュメニカル運動の出発点とされる「エジンバラ宣教会議」から百年にあたる。

そのような歴史の中で、日本における宣教的ヴィジョンを諸教会と共有しつつ、確認していくことが重要だと思われる。東京教区においては、この20年来「小さくされた者との連帯」をそのヴィジョンに掲げている。日本聖公会としては、22年前の組織成立百年記念にあたり「私たちを平和の器にしてください」との宣教課題を掲げた。「平

和を実現する」が、まさしく「宣教」そのものであることを再確認したことになる。私たちは神

から、平和を実現する使命を与えられて、この世に遣わされていることを確認すること。「宣教」Missionとは、本来「神によつて与えられた使命」であり、その根底にあるものは、「すべて命や命に繋がるものに対して『イエス・然り』を宣言すること。死と生存を否定するものには『ノー・否』を宣言すること。この基本に立ち返ることが、いま求められていると思う。

このような基本的な宣教理解に立って、教会と社会の関係をしっかりと確認していかなければならない。それは「批判と連帯」という言葉で表現される。

教会は、社会が必要とする事柄に共感し、連帯して責任を果たす。また教会は、常に国家や権力とは、距離を保ちつつ、必要に応じて批判を加えていく「見張り」として責任を負うことだと言える。女子教育や医療事業などの面で、社会の必要に連帯し、責任を担ってきた歴史がある。しかし、国家の誤った方向性に対して、はっきりと批判してきたのが、改めて問われている。「平和の使命」を頂く教会として、その責務をもう一度確認することが求められている。

記念礼拝の最後に、次代を担う子どもたちが、聖堂一杯に平和の歌声を響かせ、希望を与えられた。

目白聖公会牧師 司祭 河野裕道